

番号
コード
年

公認婚姻契約書

証明番号： _____ 書類番号： _____

日付： _____ 市民局登録番号： _____

両者の写真の余白に拇印を押すこと

イスラム歴 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日、西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日、午前・午後 _____ 時 _____ 分 _____ 秒、カイロ民事公証人事務所の _____ を公証人とし、

証人

1. 氏名： _____ 国籍： _____ 宗教： _____
生年月日： _____ 出生地： _____
住所： _____
身元確認書類： _____ 発行地： _____ 発行日： _____
身分証明書番号： _____

2. 氏名： _____ 国籍： _____ 宗教： _____
生年月日： _____ 出生地： _____
住所： _____
身元確認書類： _____ 発行地： _____ 発行日： _____
身分証明書番号： _____

上記二名の証人同席のもと、この契約は行われた。又、この二名の証人は公証行政法第8条に基づき要求される公証人としての資格を有している。

出席者

第一当事者 _____ の息子の _____ の息子の _____
母親の氏名： _____ 国籍： _____ 宗教： _____
生年月日： _____ 出生地： _____
住所： _____
身元確認書類： _____ 発行地： _____ 発行日： _____
身分証明書番号： _____
第一当事者への書類送付先： _____

第二当事者 _____ の娘の _____
母親の氏名： _____ 国籍： _____ 宗教： _____
生年月日： _____ 出生地： _____
住所： _____

身元確認書類： _____ 発行地： _____ 発行日： _____

身分証明書番号： _____

第二当事者への書類送付先： _____

彼ら二人はこの結婚を妨げるものがないことを宣言した後で、（前記二人の証人の確認のもと）正式な法的結婚を要求した。

そして、この契約のために提出された書類を審査し、国家の法律及び宗教法上、彼ら二人の結婚を妨げる何ものも存在しないということを確認した後で、我々は彼ら二人に対し以前に結婚したことがあるか否か尋ねた。

第一当事者は（結婚したことはありません／結婚したことがあります）と答えた。

前妻についての詳細 1～3 _____

第二当事者は（結婚したことはありません／結婚したことがあります）と答えた。

前夫についての詳細 _____

そして、我々がこの契約の場に出席している第一当事者に _____ を法律上の妻として受け入れるか尋ねたところ、彼は受け入れますと答えた。

また、第二当事者に _____ を法律上の夫として受け入れるか尋ねたところ、彼女は受け入れますと答えた。

そして、この結婚は夫から妻への _____ エジプトポンドの結婚契約金もとに行われ、その内の _____ エジプトポンドは既に支払われている。もし、契約に支障が起こった場合は二人の証人の元、夫から妻へ _____ エジプトポンドが速やかに支払われることが決められた。

夫と妻は新居を _____ と定めた。

我々は二人の当事者に、この結婚に際して金銭面で何か特別な取り決めをしたか尋ねた。

二人は _____ と答えた。

夫の提出書類： _____

妻の提出書類： _____

特記事項

夫と妻の取り決め事項： _____

以上の如くこの契約は特別条件において成立し、契約書が原本と写し4枚が作成され、当公証人事務所において、出席者全員の前で宣誓され、そして全員が署名を行った。

契約書作成者署名 _____ 証人署名 1. _____ 妻の署名 _____ 夫の署名 _____

2. _____

1.夫が妻に支払われる契約金を言語と数字で記さなければならない。

2.夫と妻は自由な契約を結ぶことは可能であるが、イスラム法に従わなければならない。

翻訳者： _____ 印